

優秀発表賞受賞コメント

平畑 阜 （麻布大学大学院 獣医学研究科）

この度、2025 年度夏の大会において「ニホンアナグマはどれくらいまで土を掘って柵内に侵入することができるのか」と題して発表の機会をいただき、優秀発表賞を賜りましたこと、大変うれしく、また光栄に思います。

近年、人と野生動物との問題が深刻化しており、農作物被害をはじめ全国各地で様々な問題が生じています。私の研究では、ニホンアナグマによる農作物被害対策を適切に行うにあたり、まずその行動特性を正しく理解することが重要であると考え、基礎的知見を得るために行いました。その結果、以前はアナグマの侵入を防ぐことができると勘案されていた柵の埋め込みの深さでも、アナグマは柵内に侵入できることがわかりました。本研究はニホンアナグマによる農作物被害対策の一助となることを目指して行いましたが、得られた基礎的知見は農作物被害の対策だけでなく、その他の問題を解決するうえでも役立てられる可能性があると考えています。

私は本研究を通じて、人と動物が共に生きていくためには、まず相手の特性を正しく理解することが不可欠であると強く感じました。本研究でもまだ明らかになっていない部分があり、正しく理解し共生していくことは容易ではありませんが、この研究を含め、多くの動物行動学の研究が今後の人と動物との関係に良い影響をもたらすことを願っております。

最後になりましたが、本研究を行うにあたりお忙しい中ご指導ご鞭撻いただきました加瀬先生、池田先生、江口先生に心よりお礼申し上げます。さらに、猛暑の中 25kg の土のうを一つずつ手作業で一緒に運んでくださった方々、2 ヶ月間共に生活した同期、生活を支えてくださったゴールデンユートピアおおちの皆様、離れていても寄り添い応援し心の支えとなってくれた家族、友人、相方、そしてなによりこの研究を行うにあたり多大なるご協力を賜りました、マグナア、グナアマのニホンアナグマ2頭にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

